

新人職員教育年間計画

新人到達目標（クリニカルラダー レベルⅠの目標から）

1. 病院の理念を理解し、組織の一員として行動できる
2. ニーズをとらえる力：助言を得て患者のニーズをとらえる事が出来る。
3. ケアする力：助言を得ながら、安全な看護を実践できる。
4. 協働する力：関係者と情報共有ができる。
5. 意思決定を支える力：患者や周囲の人々の意向を知る。

月		目標	研修	評価	体制
4	オリエンテーション 病棟配置	病院の概要の理解、病院を知ることができる。専門職、組織の一員としての心構えができる。病棟の雰囲気になれる。物品の場所が分かる。	・オリエンテーション・各委員会、電カル説明 ・技術研修 ・接遇研修	2ヶ月毎 チェック	プリセプター
5		日勤看護師の役割、日勤の流れが理解できる。基本的看護技術の習得。電カルの操作ができる。患者の情報収集ができる。患者、家族とコミュニケーションが図れる。	・輸血、標準採血法・1ヶ月フォローアップ① 新人看護職員研修事業（5月～）		
6		優先順位を考えて日勤ができる。看護基準・手順に沿って、安全安楽、確実に看護技術ができる。看護必要度を理解し記録ができる。注射薬、内服管理について理解し実施できる。	① d O	技術 チェック	
7		チームの役割が理解できる。優先順位を判断し行動がとれる。入院の流れ・手順が理解できる。入院患者の情報収集、初期計画の立案ができる。受け持ち患者を担当する。	・褥瘡管理 看護必要度について ・3ヶ月フォローアップ ・院内安全、感染研修会 ① d O		
8	夜勤導入 準・深夜 （目標達	医療用麻薬の管理、運用方法が理解できる。急変時の対応について理解できる。経験した看護技術、処置について自信を持って実施できる。夜勤の流れが理解できる。	・急変時の対応について・BLS （①の研修内で実施） ・気管内挿管の介助	技術 チェック	
9	成状況を 確認しな	受け持ち患者の看護展開ができる。指導を受けて夜勤を行う。6ヶ月のふり返りと今後の課題を明確にする。	① d O		
10	がら夜勤 導入を行	受け持ち患者の看護展開ができる。 指導を受けながら、夜勤ができる	① d O	技術チェック	
11	う）	受け持ち看護師の役割ができる。 受け持ち患者の看護展開について自己の看護を振り返りレポートにまとめ発表できる。	・看護理論に基づいた症例検討会		
12		個別性の看護の看護過程ができる。急変時の対応、夜勤で優先順位を考え行動できる。		技術チェック	
1		夜勤の一人立ちできる。周囲に視点が向けられる	・12ヶ月フォローアップ研修		
2		知識、技術、接遇面のふり返り。チームメンバーの役割ができる。夜勤の独り立ち早番ができる。	・院内安全、感染研修会 ① d O	技術チェック	
3		1年間の自己の看護をふり返り来年度に向けて課題を明確にできる。		技術チェック	